

イベント報告

◆一般公開を開催しました

農研機構九州沖縄農業研究センターは、2019年10月19日（土）ならびに10月26日（土）に一般公開を開催しました。本所（合志市）の一般公開では小雨がばらついていましたが、「世界に船出、九州沖縄の農業」をテーマに896名が来場しました。来場者は、テーマにそったミニセミナーや研究成果紹介などの各コーナーを興味深く見ていました。また、筑後・久留米研究領域（筑後）の一般公開は、「スマート農業を見てみようスマート農業ってなに？」をテーマに200名が来場しました。来場者は、自動運転田植機の展示説明や最新の研究成果のパネル展示に「大変勉強になった」など好評でした。



ミニセミナーを熱心に聴講する来場者



自動運転田植機の展示

◆令和元年度九州沖縄地域マッチングフォーラム

2019年8月28日に長崎市の長崎大学環境科学部で、農業現場のニーズを踏まえた研究推進と研究成果の現場への迅速な普及促進を目的に、農林水産省技術政策室、農研機構九州沖縄農業研究センターおよび九州農業試験研究機関協議会の主催でマッチングフォーラムを開催しました。フォーラムは、第1部「加速するスマート農業の展開」および第2部「技術と品種を活用した市場の開拓」の構成で行いました。第1部では農林水産省のスマート農業実証プロジェクトから4つの実証課題（実証地は、長崎、佐賀、宮崎および鹿児島県）について、第2部では「ピワ葉と茶葉からの高機能性飲料の開発」（長崎県）と「もち性大麦新品種『くすもち二条』の開発」（九州沖縄農業研究センター）の2成果について、発表と質疑応答が行われました。また、九州沖縄地域の公設試験研究機関等から最新研究成果のポスター展示も行われました。生産者、行政・普及関係者等127名にご来場いただき、発表者との間で意見交換が活発に行われました。



第1部「加速するスマート農業の展開」

◆第8回 P&B JAPAN

（ベーカリー&カフェジャパン2019）に出展

農研機構九州沖縄農業研究センターは2019年7月22日（月）～24日（水）まで東京ビッグサイト^{あおみ}青海展示棟（東京都）で開催された「ベーカリー&カフェジャパン2019」に出展しました。実需者やベーカリー関係者が、3日間でのべ24,000名来場されました。

当センターからは、フランスパン加工適性に優れた小麦新品種「さちかおり」を出展し、紹介しました。他に、農研機構として中央農業研究センター北陸研究拠点より大麦「はねうもち」、次世代作物開発研究センターより大麦「ワキシーフाइバー」、「ビューファイバー」などの紹介も行いました。

当センターの研究成果である「さちかおり」で作ったフランスパン（鳥越製粉試作）の試食では、大変ご好評をいただきました。



フランスパンを試食する来場者

受賞報告

- 第24回（2019年度）日本土壤肥料学会技術賞
「水稻湛水直播のためのべんモリ種子被覆技術の開発」
水田作研究領域 原 嘉隆
- NARO RESEARCH PRIZE 2019
「省力的な栽培が可能で、大果で日持ち性に優れた多収性イチゴ品種「恋みのり」」
園芸研究領域 曾根一純
遠藤（飛川）みのり
（現：西日本農業研究センター）
- 2019年度 日本育種学会奨励賞
「非選好性に着目したダイズハスモンヨトウ抵抗性に関する遺伝育種学的研究」
作物開発利用研究領域 大木信彦